

景況れぼうと すみだ 106

目 次

| | | |
|---|------------|---------|
| 1 | 区内中小企業の業況 | 1 |
| 2 | 区内製造業の業況 | 2 |
| 3 | 区内卸売業の業況 | 4 |
| 4 | 区内小売業の業況 | 5 |
| 5 | 区内サービス業の業況 | 6 |
| 6 | 区内建設業の業況 | 7 |
| 7 | 区内不動産業の業況 | 8 |
| 8 | 特別調査 | 9 |

調査対象とした区内事業所数と回収状況

| | 調査数 | 回収数 |
|-------|-----|-----|
| 製造業 | 231 | 229 |
| 卸売業 | 69 | 69 |
| 小売業 | 90 | 90 |
| サービス業 | 32 | 32 |
| 建設業 | 14 | 14 |
| 不動産業 | 19 | 19 |
| 合計 | 455 | 453 |

未回収の理由

| | |
|-------|---|
| 倒産・廃業 | 2 |
| 移転・不在 | 0 |
| 調査拒否 | 0 |
| 取引解消 | 0 |
| 休業 | 0 |

「景況れぼうとすみだ」は、一般社団法人東京都信用金庫協会が区内企業を対象に行った調査資料をもとに、墨田区が編集したものです。

発行月 = 平成26年12月

発行者 = 墨田区産業観光部産業経済課 ☎5608 - 6186 (直通)

平成26年7月～9月期 【第106号】

1. 自社の課題に見合った設備投資を実施

A社は電子機器部品やアクセサリ部品などの、プラスチック部品の射出成型を行っている。この分野は企業の海外生産へのシフトが進んでおり、価格・納期などの客先要求は年々厳しくなっている。生産効率の見直しをおこない、コスト・納期の短縮化要求に対応することが必須となっていたが、A社が所有する生産設備は老朽化が進んでおり、これらの要求に対応することは困難であった。そこで、設備投資に活用できる補助金を利用して、設備更新を行おうと考えた。しかし、設備投資に補助金を活用しても導入費用の1/2～1/3は自己負担となることが判明し、その自己負担額はA社のような中小企業にとって簡単に用意できる金額では無かった。A社は支援機関に相談したところ、設備投資の目的を明確にする必要があるとアドバイスを受け、支援機関の支援を受けながら中期経営計画を立案し、改めて設備投資の可否について検討した。その結果、設備を更新するのではなく、現在所有している設備の「オプション機械」を導入することで、設備投資の費用を抑えつつ、かつ生産効率が向上することがわかった。その後、策定した中期経営計画をベースに、改めて補助金の申請を行ったところ、無事採択を受け、2/3の補助を受けてオプション機械の導入を行った。あわせて、区の融資制度を活用し、補助金を受けるまでのつなぎ融資の金利を抑え、国の設備投資減税に関する施策を活用して税額控除の優遇を受けるなど、複数の施策を上手く活用してオプション機械の導入を実施した。

これにより、A社の生産効率が約8%向上し、納期遅延のリスク解消や生産コストの削減などの課題解決へ導いた。また生産効率の向上により、生産以外の業務へ時間を割くことが可能となり、今まで取り組む事が困難であった新商品開発の時間が取れるようになり、新たな顧客ニーズ獲得のチャンスを得ることができた。

2. パートタイマーの活用により、品質と生産効率の向上へ

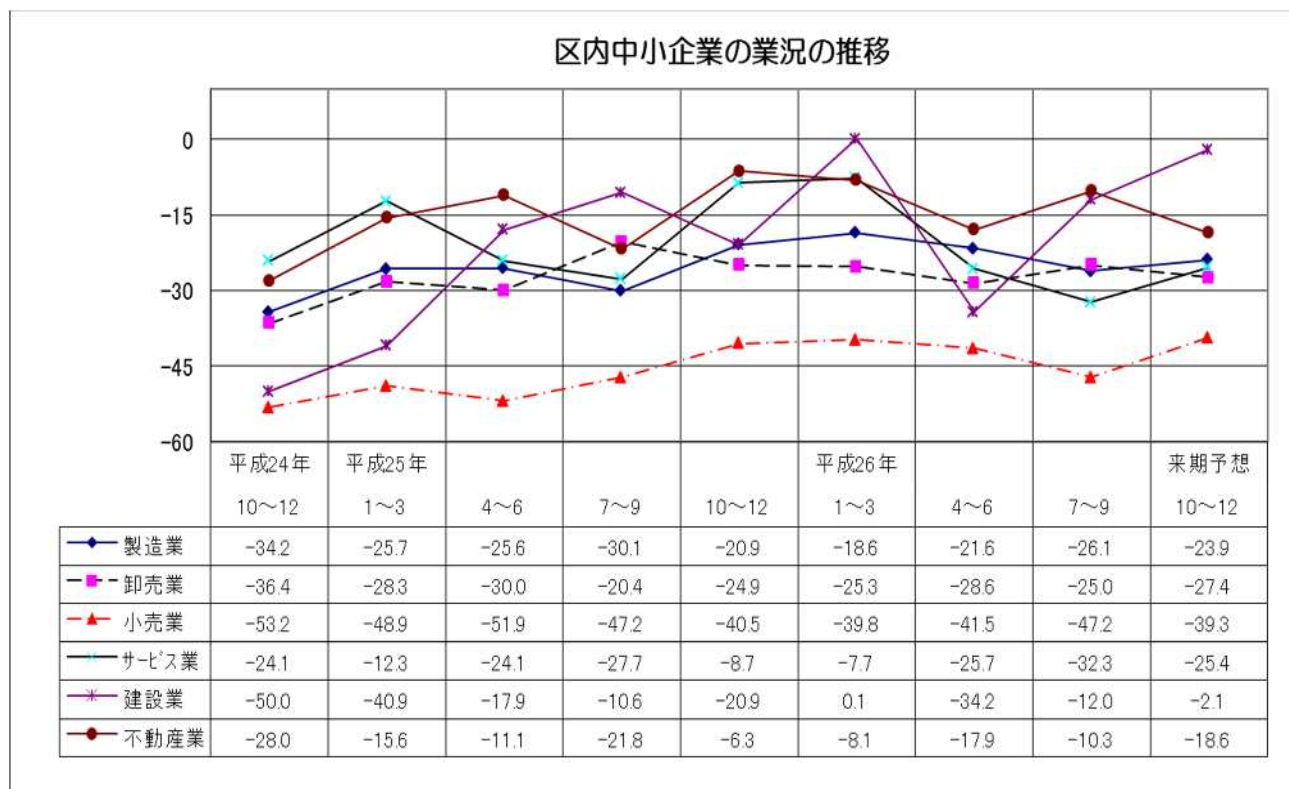
少子高齢化の進行により、生産年齢人口の減少が見込まれる中で、今後は女性や高齢者の活用が重要とされている。

B社は、都内で菓子製造業を営んでおり、主に全国の和菓子専門店へクッキー等の生産を行っている。B社の商品は、製造に手間がかかる高級菓子であり、アイテム数も多い典型的な多品種少量生産である。また、取引先からは、品質や安全性に対して極めて厳しい基準が課されている。B社では、HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)という衛生管理手法を徹底し、生産体制の効率化とともに高品質を維持し続けなければならない。そのため、B社従業員には高い技術力が要求されるが、従業員の8割近くは女性のパートタイム従業員が占めていた。よって、パートタイム従業員のモチベーションを高め、定着率及び技術力を向上させることが、B社の最重要課題であった。

B社の取組みは、長期的な視点に立ち、パート従業員に対しても正社員と同様の研修や資格試験の受験を推奨し、資格手当を支給するなどモチベーションを高める工夫を行ったことである。また、経営情報の開示や決算賞与・優秀従業員の表彰・人材教育を正社員・パートタイマーの区別を行う事なく実施したことも、パートタイム従業員のモチベーションアップにつながった。さらに、研修のメニューを検討する際に、パートタイム従業員を検討メンバーとして加え、毎年研修内容の見直しを行った。あわせて、研修実施に活用できる補助金を利用して、外部講師を依頼するなど研修内容の充実に努めた。

これにより、取組みから3年でパートタイム従業員の定着率が10%近く向上し、B社の生産効率の向上へとつなげることができた。

1 区内中小企業の業況



平成 26 年 7 月 ~ 9 月期の区内中小企業の業況は、製造業、小売業、サービス業は前期に引続き減少傾向にあり、今期も悪化幅がやや拡大した。卸売業、不動産業においては、引続き減少傾向のままであるが、今期は減少幅が縮小した。建設業は、引続き減少傾向であるものの、今期は減少幅が非常に大きく縮小した。

業種別に見ると、製造業は依然として減少傾向にあり、今期は前期に比べ悪化幅がやや拡大した。来期の業況においては、今期よりも悪化幅がやや縮小することが予想される。

卸売業は、前期と同様に減少傾向のままであるが、今期は前期に比べ悪化幅がわずかに縮小した。来期の卸売業の業況は、今期よりも悪化幅がやや拡大することが予想される。

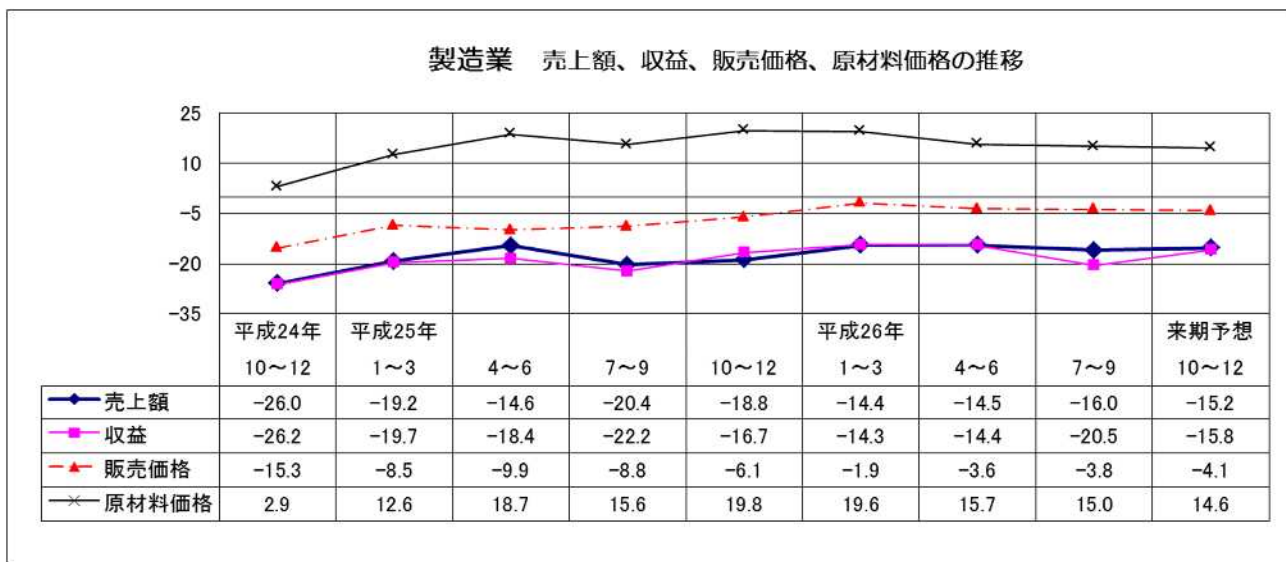
小売業において、前期と同様の低下基調であり、今期は減少幅が拡大した。来期には、悪化幅が縮小することが予想される。

サービス業も、前期と同様に減少傾向のままであるが、今期は大幅に業況感が落込んだ。来期においては、今期よりも悪化幅が大きく縮小され、前期同様の水準に戻ることが予想される。

建設業は、前期に比べ今期において減少幅が大幅に縮小した。来期は再び悪化幅がさらに大きく縮小することが予想される。

不動産業は、前期と同様に減少傾向のままであるが、今期は悪化幅が縮小した。来期においては、悪化幅が大きく拡大し、前期並みになることが予想される。

2 区内製造業の業況

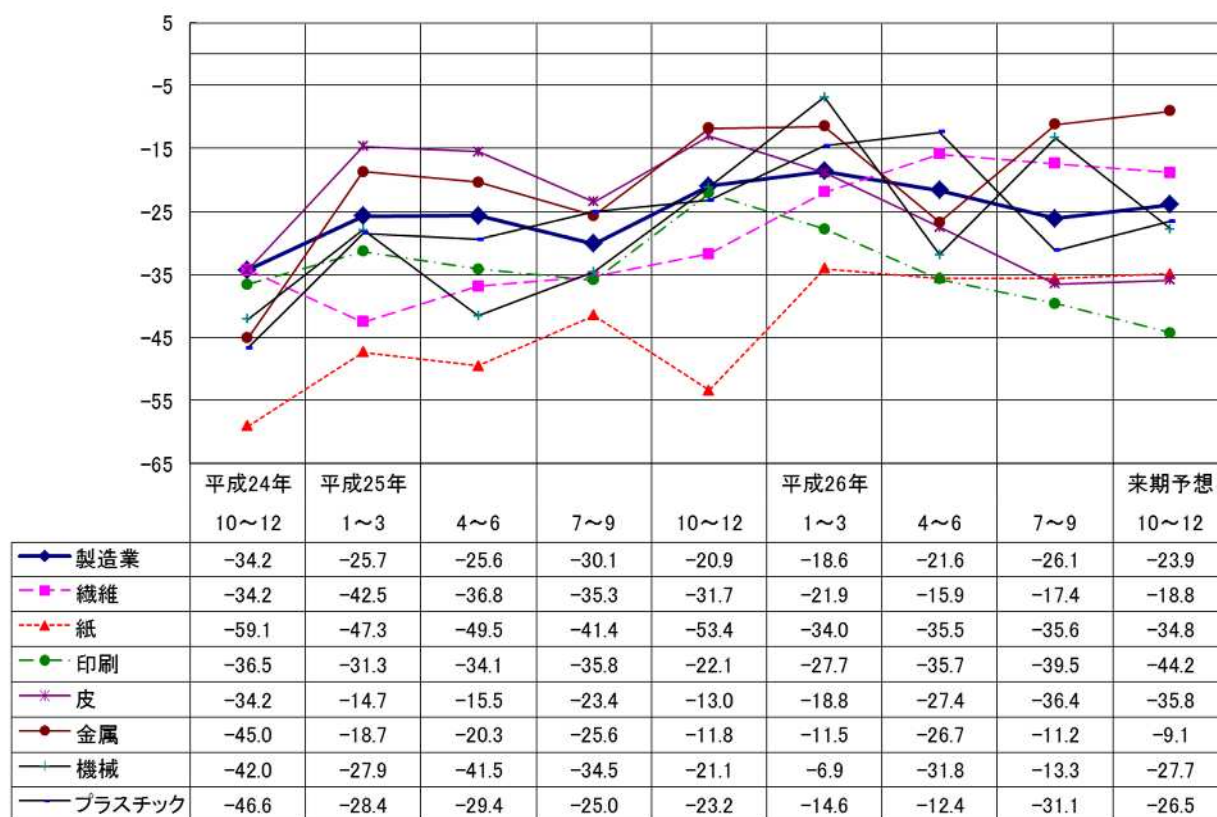


区内製造業の今期業況は、依然として減少傾向にあり、前期に比べ悪化幅がやや拡大した。来期の業況においては、悪化幅がわずかに減少して推移することが予想される。傾向としては、都内製造業に比べ低い水準にあるが、同様の業況感で推移することが予想される。

今期の原材料価格は、前期と同様の水準である。また、販売価格は前期並みの下降が続いている。売上額および収益はともに、減少・減益幅がやや拡大している。

全体的な傾向としては、来期の原材料価格は引続き横ばいであり、販売価格においても、前期同様の低下基調であることが予想される。また、売上額・収益は、今期と比較して減少・減益幅がやや縮小すると見られる。

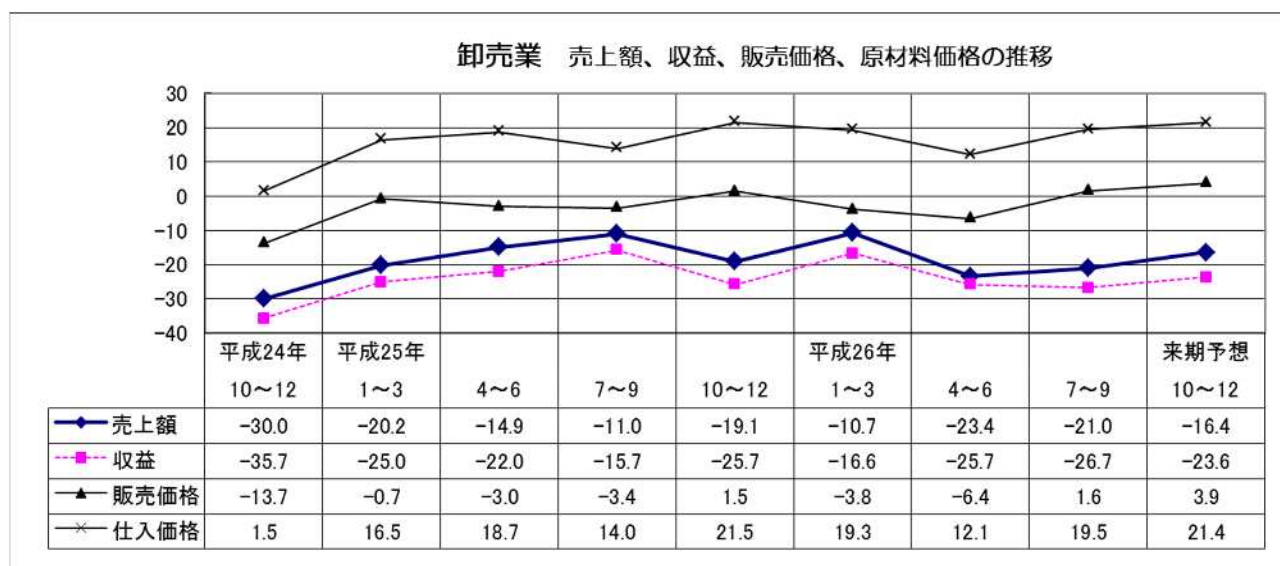
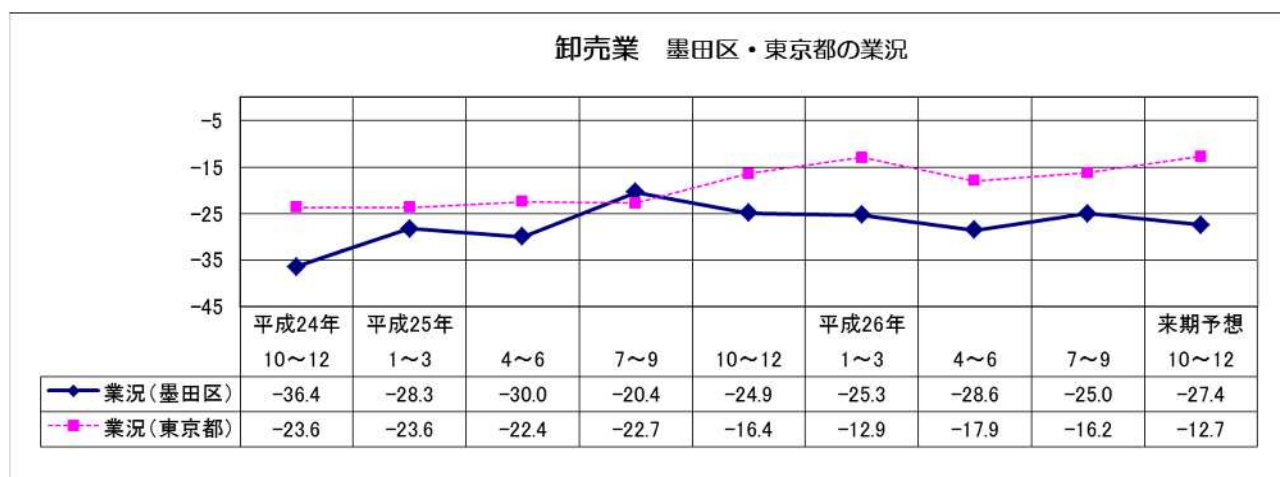
製造業 業種別業況の推移



区内製造業の業況を業種別に見ると、繊維（繊維工業、衣服・その他繊維製品）、紙（パルプ・紙、紙加工品）は、前期に引続き水面下であり、悪化幅がほぼ横ばいで推移した。印刷（出版、印刷、製版、製本業）、皮（なめし皮・同製品・毛皮）、プラスチック（プラスチック製品）は、今期に悪化幅が拡大した。金属（金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業）、機械（一般機械器具、金型）においては、前期に比べ悪化幅が大きく縮小した。

来期において、繊維（繊維工業、衣服・その他繊維製品）、紙（パルプ・紙、紙加工品）、皮（なめし皮・同製品・毛皮）は今期とほぼ同様の水準で推移すると予想される。印刷（出版、印刷、製版、製本業）、機械（一般機械器具、金型）は、今期よりも悪化幅が大きく拡大することが予想される。金属（金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業）、プラスチック（プラスチック製品）は引続き水面下であるものの、来期において悪化幅は縮小すると予想される。

3 区内卸売業の業況

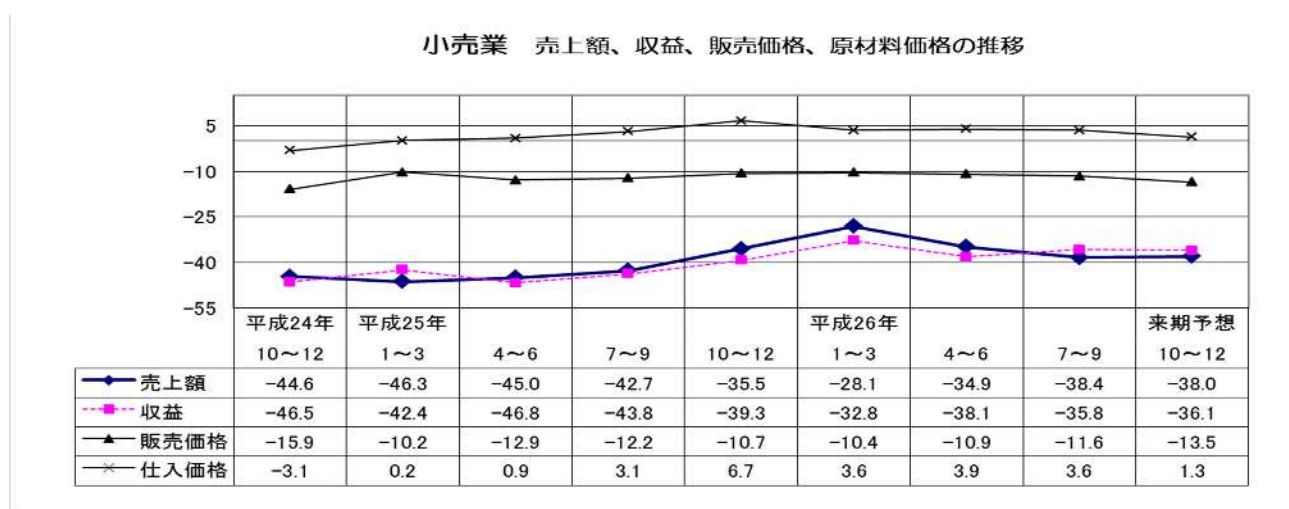
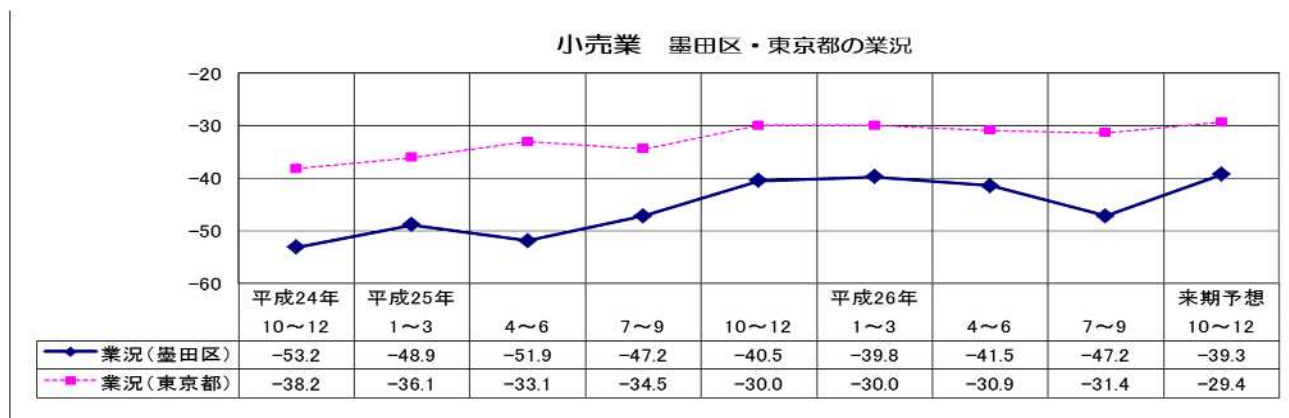


区内卸売業の今期業況は、前期と同様に減少傾向のままであるが、今期は前期に比べ悪化幅がわずかに縮小した。来期は、今期に比べ再び悪化幅がやや拡大することが予想される。傾向としては、都内卸売業に比べ低い水準にあるが、ほぼ同様の業況感で推移することが予想される。

今期の仕入価格は、前期に比べ大きく上昇傾向が強まった。また、販売価格は今期に好転した。売上額はやや減少幅が縮小したが、収益は減益幅がやや拡大した。

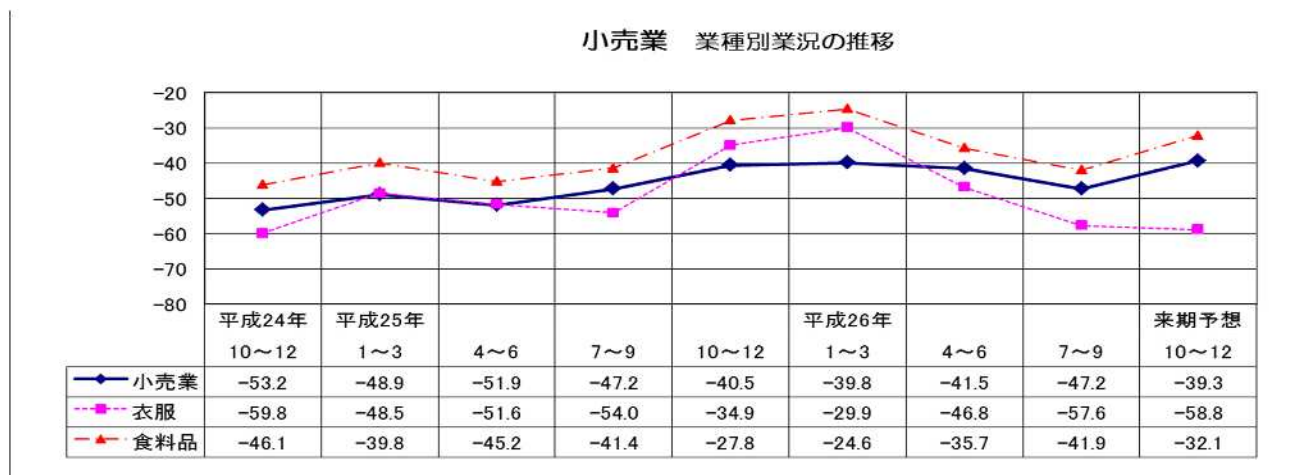
全体的な傾向としては、来期の仕入価格、販売価格ともにやや上昇することが予想される。来期の売上額・収益ともに、減少・減益幅が縮小することが予想される。

4 区内小売業の業況



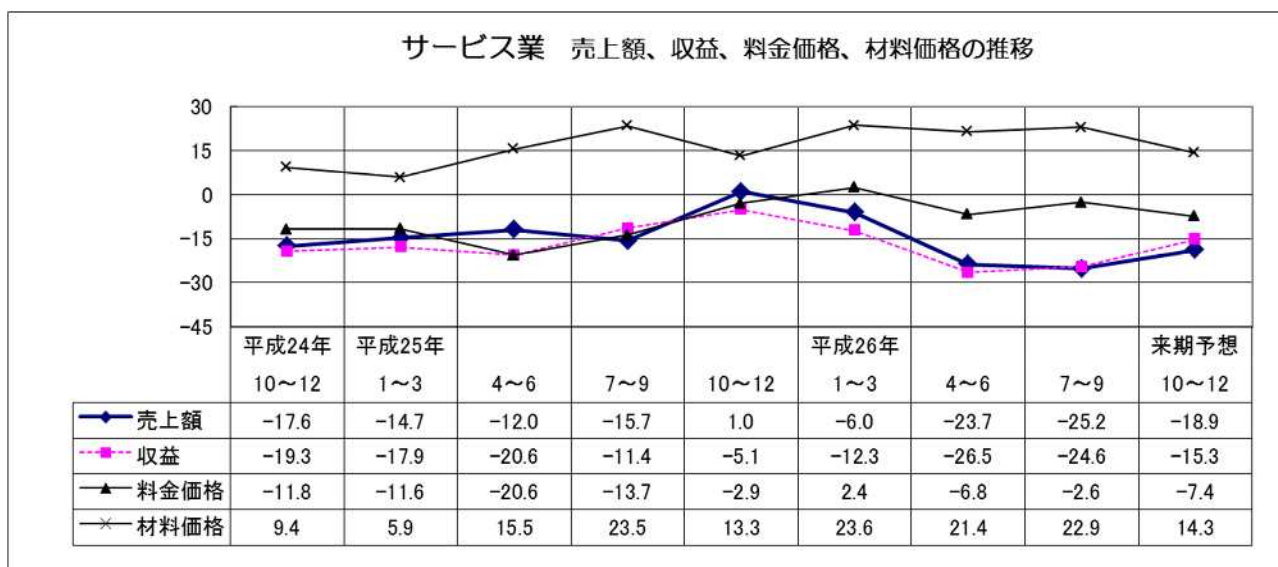
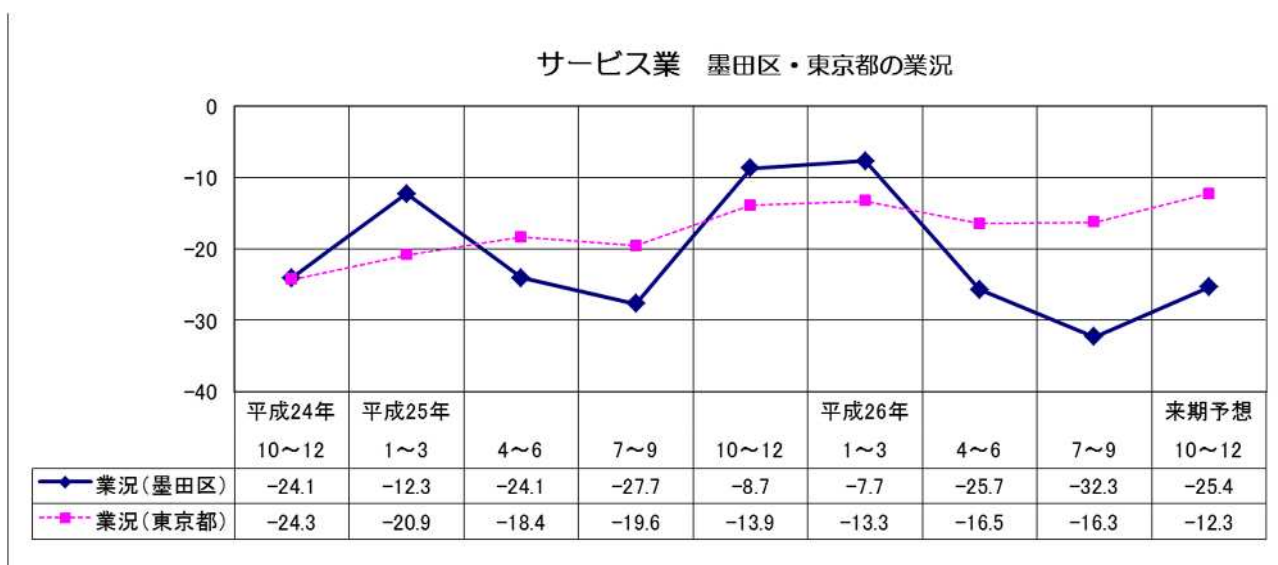
区内小売業の今期業況は、減少傾向ながら今期は悪化幅が拡大した。来期は悪化幅が縮小し、前期とほぼ同様の水準に戻ることが予想される。

今期の仕入価格は横ばいであるが、来期は上昇傾向が弱まることが予想される。今期の販売価格は前期並みであるが、来期はやや下降することが予想される。今期の売上額は減少幅が拡大し、収益は水面下ながら減益幅がやや縮小した。来期の売上額、収益額ともに今期と同様の水準で推移することが予想される。



区内小売業の業種別今期業況は、衣服（呉服、身の回りの品）は悪化幅が拡大し、来期もほぼ同様の水準である。食料品（飲食料品）も悪化幅が拡大したが、来期の悪化幅は大きく縮小することが予想される。

5 区内サービス業の業況

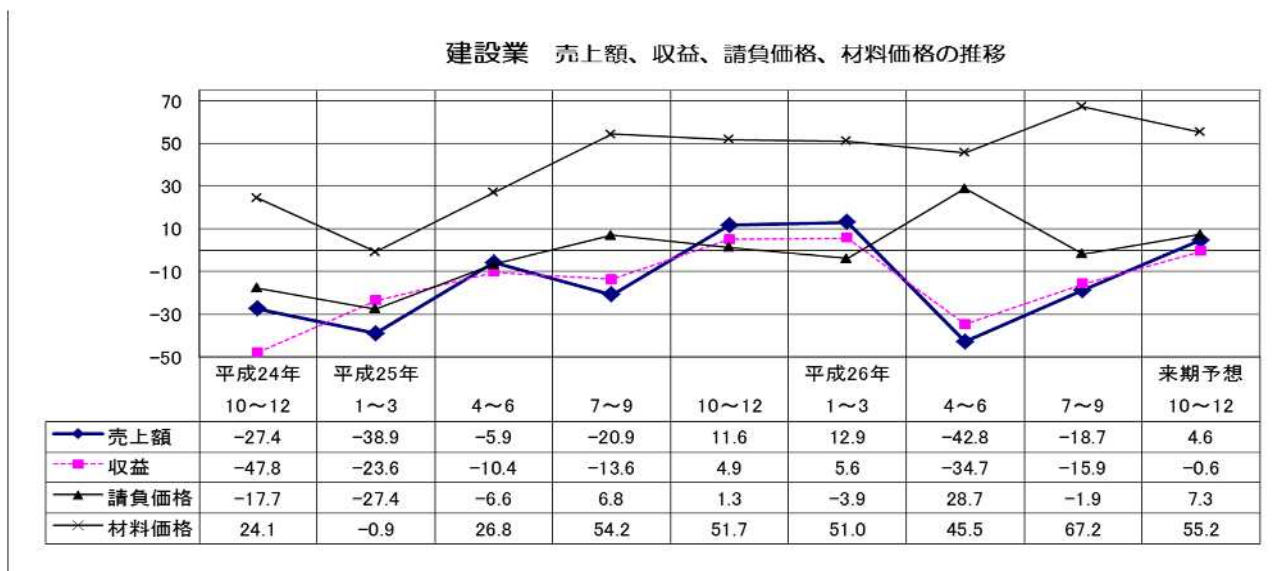
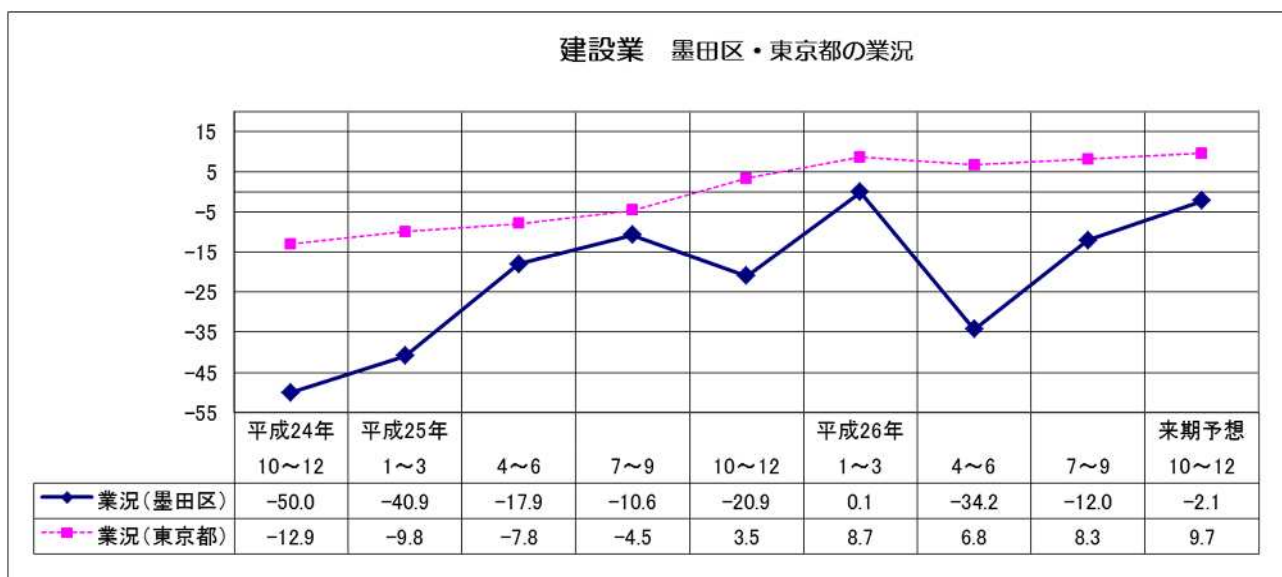


区内サービス業の今期業況は、大幅に業況感が落ち込んだ。来期においては、減少幅が縮小し、再び前期とほぼ同様の水準に推移することが予想される。傾向としては、都内サービス業に比べて、大きく低い水準にあるが、来期においても同様の傾向で推移することが予想される。

今期の材料価格は、前期とほぼ同様の水準で推移した。料金価格はやや厳しさを弱めた。今期の売上額は、減少幅がやや拡大したが、収益においては、減益幅がわずかに縮小した。

全体的な傾向として、来期の材料価格および料金価格は今期よりも大きく下降することが予想される。来期の売上額および収益においては、引続き水面下であるが、減少・減益幅が大きく縮小することが予想される。

6 区内建設業の業況

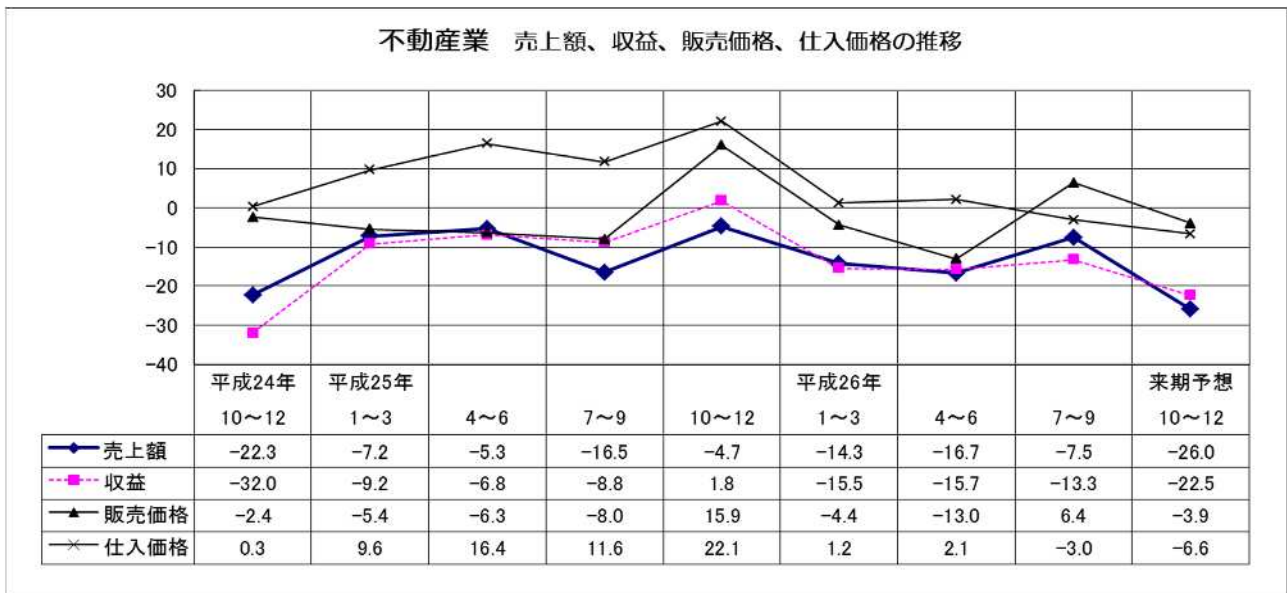
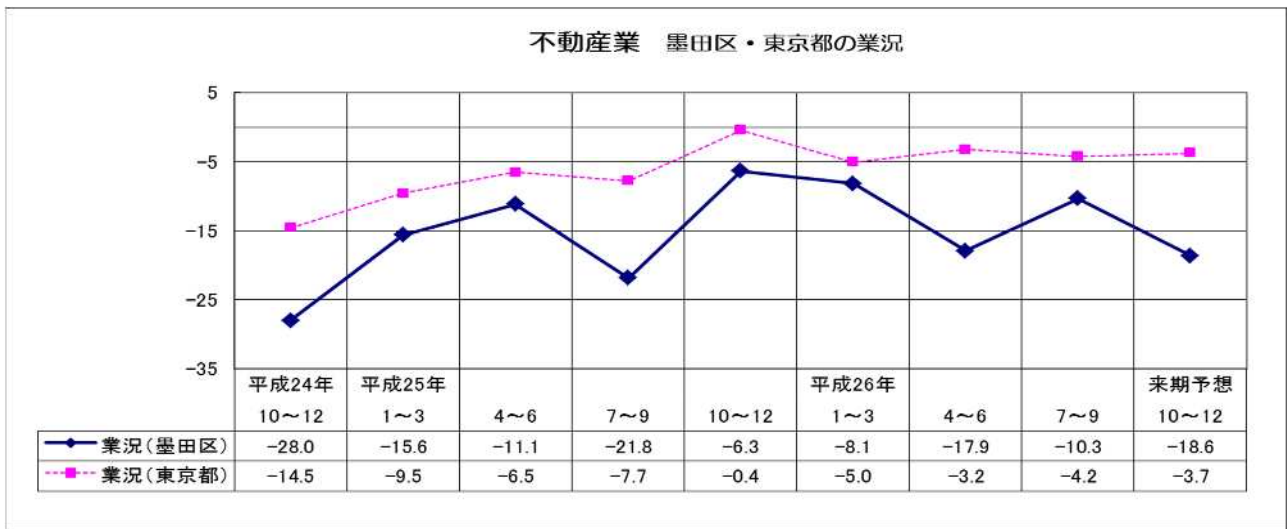


区内建設業の今期業況は、悪化傾向が大きく縮小した。来期には、引続き水面下であるものの悪化幅がさらに大きく縮小することが予想される。傾向としては、都内建設業に比べて、前期に引続き低い水準にあるが、同様の傾向で減少傾向が縮小することが予想される。

今期の材料価格は上昇が非常に強まった。請負価格は前期において大幅に上昇し、良化に転じたが、今期は下降へ転じて、やや厳しさを強めた。売上額および収益は、減少・減益幅が大きく縮小した。

全体の傾向として、来期の材料価格は上昇が弱まることが予想される。請負価格は、好転することが予想される。来期の売上額および収益は、減少・減益幅が大きく縮小し、売上額は好転することが予想される。

7 区内不動産の業況



区内不動産の今期業況は、悪化幅が大きく縮小した。来期においては悪化幅が拡大し、再び前期とほぼ同様の水準に推移することが予想される。傾向としては、都内不動産より低い水準にあり、来期はさらに低調感を強めて推移していくことが予想される。

仕入価格は前期において落ち着きを見せ、今期は下降に転じて好感が強まった。販売価格においては、前期に下降傾向であったが、今期は大きく上昇して好転した。今期の売上額および収益は、引続き水面下ではあるが、減少・減益幅が縮小した。

全体の傾向として、来期の仕入価格は、今期よりもさらに下降して好感が強まることが予想される。来期の販売価格においては、下降へ転じて厳しさが生じることが予想される。売上額および収益ともに、来期に減少傾向を大幅に強めて低迷することが予想される。

8 特別調査（平成26年の経営見通し）

平成26年7月～9月期 調査

| アベミクスの効果と今後の期待 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----|-----------|-----|----|------|----------|------|-----|------|-----------|------|---|-----|------------|------|-----|------|-------------|------|----|------|
| | 回答数 | 大いに実感している | | | | やや実感している | | | | どちらともいえない | | | | あまり実感していない | | | | まったく実感していない | | | |
| | | 5 | 1.1 | 37 | 8.2 | 120 | 26.7 | 172 | 38.3 | 113 | 25.2 | 5 | 1.1 | 90 | 20.0 | 117 | 26.1 | 130 | 29.0 | 82 | 18.3 |
| 製造業 | 227 | 2 | 0.9 | 18 | 7.9 | 56 | 24.7 | 102 | 44.9 | 49 | 21.6 | 2 | 0.9 | 45 | 19.8 | 54 | 23.8 | 75 | 33.0 | 36 | 15.9 |
| 卸売業 | 69 | 0 | - | 10 | 14.5 | 22 | 31.9 | 23 | 33.3 | 14 | 20.3 | 1 | 1.4 | 18 | 26.1 | 15 | 21.7 | 20 | 29.0 | 11 | 15.9 |
| 小売業 | 89 | 1 | 1.1 | 2 | 2.2 | 24 | 27.0 | 26 | 29.2 | 34 | 38.2 | 1 | 1.1 | 13 | 14.6 | 30 | 33.7 | 16 | 18.0 | 27 | 30.3 |
| サービス業 | 32 | 1 | 3.1 | 3 | 9.4 | 6 | 18.8 | 12 | 37.5 | 10 | 31.3 | 1 | 3.1 | 6 | 18.8 | 5 | 15.6 | 13 | 40.6 | 6 | 18.8 |
| 建設業 | 13 | 0 | - | 2 | 15.4 | 5 | 38.5 | 3 | 23.1 | 3 | 23.1 | 0 | - | 2 | 15.4 | 5 | 38.5 | 5 | 38.5 | 0 | - |
| 不動産業 | 19 | 1 | 5.3 | 2 | 10.5 | 7 | 36.8 | 6 | 31.6 | 3 | 15.8 | 0 | - | 6 | 31.6 | 8 | 42.1 | 1 | 5.3 | 2 | 10.5 |

| 法人税制改正案についての考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----|--------|------|----|------|----------|------|----|-----|----------|------|----|------|--------|------|--|--|---------|--|--|--|-----------|--|-------|--|
| | 回答数 | 歓迎している | | | | やや歓迎している | | | | やや心配している | | | | 心配している | | | | どちらでもない | | | | 当社には関係がない | | わからない | |
| | | 32 | 7.2 | 60 | 13.5 | 79 | 17.8 | 24 | 5.4 | 150 | 33.9 | 50 | 11.3 | 48 | 10.8 | | | | | | | | | | |
| 製造業 | 223 | 14 | 6.3 | 33 | 14.8 | 47 | 21.1 | 15 | 6.7 | 76 | 34.1 | 21 | 9.4 | 17 | 7.6 | | | | | | | | | | |
| 卸売業 | 67 | 7 | 10.4 | 14 | 20.9 | 10 | 14.9 | 3 | 4.5 | 22 | 32.8 | 6 | 9.0 | 5 | 7.5 | | | | | | | | | | |
| 小売業 | 89 | 5 | 5.6 | 6 | 6.7 | 15 | 16.9 | 3 | 3.4 | 27 | 30.3 | 14 | 15.7 | 19 | 21.3 | | | | | | | | | | |
| サービス業 | 32 | 4 | 12.5 | 2 | 6.3 | 3 | 9.4 | 2 | 6.3 | 12 | 37.5 | 5 | 15.6 | 4 | 12.5 | | | | | | | | | | |
| 建設業 | 13 | 0 | - | 2 | 15.4 | 1 | 7.7 | 0 | - | 5 | 38.5 | 3 | 23.1 | 2 | 15.4 | | | | | | | | | | |
| 不動産業 | 19 | 2 | 10.5 | 3 | 15.8 | 3 | 15.8 | 1 | 5.3 | 8 | 42.1 | 1 | 5.3 | 1 | 5.3 | | | | | | | | | | |

| 積極的な設備投資を開始する条件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----|------------|------|------------------|-----|------------|------|-------------|-----|---------------|------|-------------|-----|------|-----|-----|---|------------|-----|-------------------|------|
| | 回答数 | 先行き不透明感の払拭 | | 設備投資税制優遇や助成金等の拡充 | | 設備の陳腐化・老朽化 | | 金融機関の貸出態度緩和 | | 顧客・取引先からの受注増加 | | 機械化投資の必要性増大 | | 業種転換 | | その他 | | すでに積極化している | | 積極的な設備投資を行うつもりはない | |
| | | 87 | 19.5 | 32 | 7.2 | 50 | 11.2 | 10 | 2.2 | 71 | 15.9 | 17 | 3.8 | 6 | 1.3 | 0 | - | 6 | 1.3 | 168 | 37.6 |
| 製造業 | 226 | 48 | 21.2 | 21 | 9.3 | 28 | 12.4 | 5 | 2.2 | 40 | 17.7 | 14 | 6.2 | 6 | 2.7 | 0 | - | 4 | 1.8 | 60 | 26.5 |
| 卸売業 | 69 | 13 | 18.8 | 5 | 7.2 | 6 | 8.7 | 1 | 1.4 | 12 | 17.4 | 1 | 1.4 | 0 | - | 0 | - | 1 | 1.4 | 30 | 43.5 |
| 小売業 | 89 | 12 | 13.5 | 4 | 4.5 | 9 | 10.1 | 2 | 2.2 | 10 | 11.2 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 1 | 1.1 | 51 | 57.3 |
| サービス業 | 32 | 8 | 25.0 | 1 | 3.1 | 3 | 9.4 | 1 | 3.1 | 4 | 12.5 | 2 | 6.3 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 13 | 40.6 |
| 建設業 | 13 | 3 | 23.1 | 0 | - | 2 | 15.4 | 1 | 7.7 | 2 | 15.4 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 5 | 38.5 |
| 不動産業 | 18 | 3 | 16.7 | 1 | 5.6 | 2 | 11.1 | 0 | - | 3 | 16.7 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 9 | 50.0 |

| 人手不足への対応方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|-----------|-----|------------|-----|------------|-----|-----------|-----|--------|-----|----------------|-----|----------------|-----|---------------|-----|-------|------|-------|-----|-----|
| | 回答数 | 給与・賞与の引上げ | | 正社員の採用基準緩和 | | 非正規社員の採用拡大 | | 女性・高齢者の活躍 | | 機械化の推進 | | 下請け等へのアウトソーシング | | 仕事量の調整(受注絞込み等) | | 対応不能(従業員の努力等) | | 人手は適正 | | 人手は過剰 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総数 | 446 | 15 | 3.4 | 12 | 2.7 | 10 | 2.2 | 8 | 1.8 | 10 | 2.2 | 11 | 2.5 | 16 | 3.6 | 21 | 4.7 | 332 | 74.4 | 11 | 2.5 | |
| 業種 | 製造業 | 226 | 8 | 3.5 | 7 | 3.1 | 4 | 1.8 | 4 | 1.8 | 7 | 3.1 | 6 | 2.7 | 9 | 4.0 | 10 | 4.4 | 165 | 73.0 | 6 | 2.7 |
| | 卸売業 | 69 | 3 | 4.3 | 1 | 1.4 | 1 | 1.4 | 1 | 1.4 | 1 | 1.4 | 3 | 4.3 | 3 | 4.3 | 3 | 4.3 | 52 | 75.4 | 1 | 1.4 |
| | 小売業 | 87 | 2 | 2.3 | 1 | 1.1 | 2 | 2.3 | 0 | - | 2 | 2.3 | 0 | - | 4 | 4.6 | 6 | 6.9 | 68 | 78.2 | 2 | 2.3 |
| | サービス業 | 32 | 2 | 6.3 | 1 | 3.1 | 2 | 6.3 | 1 | 3.1 | 0 | - | 1 | 3.1 | 0 | - | 1 | 3.1 | 23 | 71.9 | 1 | 3.1 |
| | 建設業 | 13 | 0 | - | 1 | 7.7 | 1 | 7.7 | 1 | 7.7 | 0 | - | 1 | 7.7 | 0 | - | 0 | - | 9 | 69.2 | 0 | - |
| | 不動産業 | 19 | 0 | - | 1 | 5.3 | 0 | - | 1 | 5.3 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 1 | 5.3 | 15 | 78.9 | 1 | 5.3 |

| 外国人との関わり増加で期待する項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------|------------------|------|------------|-----|---------------|-----|---------------|-----|--------|-----|--------------|-----|----------|------|---------|-----|-----|-----|-----------|------|------|
| | 回答数 | 国内での顧客層の拡大(売上増大) | | 海外拠点展開の担い手 | | 職場の活性化・グローバル化 | | 新たな技術・ノウハウの獲得 | | 現場の労働力 | | 会社中核を担う人材の確保 | | 地元経済の活性化 | | 文化交流の促進 | | その他 | | 特に期待していない | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総数 | 445 | 63 | 14.2 | 9 | 2.0 | 14 | 3.1 | 9 | 2.0 | 35 | 7.9 | 4 | 0.9 | 60 | 13.5 | 11 | 2.5 | 3 | 0.7 | 237 | 53.3 | |
| 業種 | 製造業 | 225 | 32 | 14.2 | 4 | 1.8 | 8 | 3.6 | 6 | 2.7 | 24 | 10.7 | 4 | 1.8 | 35 | 15.6 | 4 | 1.8 | 2 | 0.9 | 106 | 47.1 |
| | 卸売業 | 69 | 15 | 21.7 | 3 | 4.3 | 1 | 1.4 | 2 | 2.9 | 1 | 1.4 | 0 | - | 5 | 7.2 | 2 | 2.9 | 0 | - | 40 | 58.0 |
| | 小売業 | 88 | 12 | 13.6 | 2 | 2.3 | 2 | 2.3 | 1 | 1.1 | 3 | 3.4 | 0 | - | 14 | 15.9 | 5 | 5.7 | 0 | - | 49 | 55.7 |
| | サービス業 | 32 | 2 | 6.3 | 0 | - | 2 | 6.3 | 0 | - | 1 | 3.1 | 0 | - | 5 | 15.6 | 0 | - | 1 | 3.1 | 21 | 65.6 |
| | 建設業 | 12 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 5 | 41.7 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 7 | 58.3 |
| | 不動産業 | 19 | 2 | 10.5 | 0 | - | 1 | 5.3 | 0 | - | 1 | 5.3 | 0 | - | 1 | 5.3 | 0 | - | 0 | - | 14 | 73.7 |